

2018年も、市民のくらしを守ってがんばります。

要介護1・2の人の在宅サービス 介護保険から外さないで



介護

中山いくみ市議（写真右）は、日本共産党福岡市議団の団長として、12月11日、福岡市の新年度の予算編成への要望を高島市長（写真左）らに提出しました。



中山いくみ
市議会議員

日本共産党

早良区民報

議会報告 2018年2月号外

中山いくみ市議の活動を紹介し
ます。市政へのご意見・ご要望を
お寄せください。（日本共産党西
部地区委員会 tel.841-1158）

発行：日本共産党福岡市議団
電話 711-4734 FAX741-4627

中山いくみホームページ
<http://nakayama-ikumi.jp>

介護保険からの 「卒業」競争まで!?

国は、要介護1・2について在宅サービスを保険給付から外し、生活援助や福祉用具貸与を原則10割自己負担にする、デイサービスを地域支援事業化する、介護保険の利用料を一律2割負担とする、「生活援助」に利用制限を導入するなどのメチャクチャな改悪を検討しています。

さらに、「自立」の名の下に介護度の「改善」「卒業」や認定率低下を事業者や市町村に「競争」させるなど、とんでもない中身もふくまれています。

要望書では、こうした動きに全国で反対の声が広がっていることを示して、検討中止を国に強く求めるよう、市長に迫りました。

教員 不足の解消を



9月議会で質問する中山いくみ市議員

中山いくみ市議は9月議会で福岡市の小中学校で教員が不足している問題を取りあげました。年度の初めから28人、2学期になっても23人が不足しています。

中山いくみ市議は、市教育委員会が正規教員の採用をおさえてきたことが原因だと指摘。抜本的に増やすよう求めました。

1.7倍の採用増を実現させる

10月の決算議会（分科会）でも中山いくみ市議は追及。2016年度には小中高で408人の採用にとどまっていたが、中山いくみ市議の質問に市教委は新年度690人と7割増の採用する見込みだと答えました。

認可保育所たくさん増やして

保育所に入れない子は福岡市で1812人となり史上最多に。
共産党の予算要望では新しい認可園を大幅に増やすなど抜本対策を求めました。
また、保育士の給料は全産業の平均と比べ月11万円も低く、抜本的に引き上げるための市独自の手立てをとるよう求めました。
中山いくみ市議は11月にも国に出かけ、保育士の処遇改善を求めました。



保育

保育士の賃上げを

←賃金の大幅引き上げなど処遇の改善を市に求める市内の保育士さんたちにあいさつする中山いくみ市議（昨年12月26日）。



無料 生活・法律
そうだん



サラ金・相続・離婚・生活保護・地域問題など弁護士と中山いくみ市議が相談を受け付けます。お気軽におこしください。

●中山いくみ事務所
飯倉5-14-51-103 ☎841-1158
毎月第2金曜日19時～

赤旗を読みませんか？
日刊/月3497円 日曜版/月823円
電話841-1158へご連絡ください

大名小跡地の問題でも…

特区にかかわっては他にも、中央区の大名小学校跡地のまわりの地域について、航空法で 65m 以上の建物はたてられないのに、115m まで OK とする「例外」が認められました。

同跡地は西鉄が隣接するホテルの建て替え場所としてねらっているとわれ、同社は跡地再開発の入札に参加しています。

高さ規制がゆるめられ、巨大なホテルがたつかもかもしれません。

ここでも高島市長が特定企業のビジネスを応援しているのではないか——中山市議は昨年9月議会でただしました。

福岡市の特区でも特定企業のビジネス応援!?

「まるで加計学園」の声も…



市長に質問する中山市議 (昨年9月15日)

中山いくみ市議は、高島市長が安倍政権と一体になってすすめている福岡市での国家戦略特区で、特定企業のビジネスやもうけを後押ししている実態について議会で質問しました。質問をきいた市民からは「まるで加計学園と安倍さんの話みたい」とおどろきの声があがっています。

安倍9条改憲 NO!

3000万人署名

安倍首相は今年中に憲法9条を改悪する発議を国会にさせようとねらっています。自衛隊についての書き込みをすることで今の9条は死文化し、海外で無制限の武力行使が可能になります。

中山市議は、新年度の予算要望(おもて面参照)で安倍政権による9条改憲に反対するよう市長に求めるとともに安倍9条改憲を許さない全国統一の3000万人署名を集めています。自衛隊が大好きなかも、「海外で自衛隊員を死なせるな」の思いでぜひご協力ください。

→ご協力いただける方は **092-711-4734** へお電話を。



安倍9条改憲反対のデモ行進の先頭に立つ中山市議(左)

空港アクセスバス 異例のスピード認定

特区を使った問題の事業は、昨年4月から福岡空港—ホテル「ヒルトン福岡シーホーク」の間を走る「空港アクセスバス」です。

運賃や運行計画をかえるときの手続きをカンタンにする規制緩和によって、空港へのアクセスをよくします! と

いう宣伝文句です。

この事業は昨年2月21日に国の会議で、「ロイヤルバス」という業者が認定されました。市が国に正式提案した昨年1月27日からわずか1ヶ月にも満たない、異例のスピード認定でした。



空港アクセスバスのホームページより

事業者は市長の“おともだち”か?

日本共産党の中山いくみ市議は、この問題を昨年9月議会で追及。この異例のスピード認定は、ロイヤルバスの代表者(戸島氏)が市長と「おともだち」だったからではないかとただしました。

高島市長は「お友達ではないが、知っている」と答弁しました。

戸島氏は人工島でのビジネスを予定している会社に出資しており、人工島に大型ホテルをたてようとしています。

近くにある市の拠点体育館で、大きな国際大会でも開かれ、空港から人工島へのバス路線がつけられれば、大もうけが見込まれます。その路線にどの企業が参入するか……注目されています。